

2019年度のランチトークとナイトトーク

未来共創センターでは2019年度はランチトークを3回と新企画のナイトトークを2回開催いたしました。ランチトークは昼休みに軽食をつまみながらその日のテーマについて参加者みんなでディスカッションする学生中心の企画です。新企画ナイトトークでは教員の方々にもより積極的にディスカッションにご参加頂きました。専門性の深化に伴う研究の細分化は一方で研究室間の垣根を高くしています。ランチトーク・ナイトトークは開放的な空間でのディスカッションを通じた人々の出会いの場を目指しています。そして出会いを通じた新たな可能性の創造を期待しています。



ランチトーク



アラスカが教えてくれたこと—写真家 星野道夫との出会いに始まって

吉成哲平（環境行動学 M1）

寄せ場のインターナショナル

サシヨ・ドリンシェク（比較文明学 D1）×安藤歴（共生の人間学 D1）

日時：2019年7月25日（木）12:00-14:00

場所：インターナショナルカフェ

今年最初のランチトークは2本立てでした。1つ目は写真家星野道夫を通じてアラスカに魅せられた吉成哲平さんの美しいプレゼンテーションです。中学生の時に英語の教科書で星野道夫を知った吉成さんは星野を追いかけるように写真を撮り、アラスカへと留学に旅立ちました。吉成さんは写真で、そして言葉で、アラスカの自然と文化に対する感動を伝えてくれました。自然と人間のあいだ、そして文化と文化のあいだをつなぐものとしての写真の力とそして何より吉成さんの真摯さは参加者の胸を打つものでした。



2つ目はサシヨ・ドリンシェクさんと安藤歴さんによる釜ヶ崎についての現状報告と将来についての問題提起です。日雇い労働者の街から高齢の単身者が多く住む街へと釜ヶ崎は急速に変化しつつあります。その中であいりん労働福祉センターの建て替えを巡る対立など、単純に割り切ることのできない課題が続出しています。釜ヶ崎で活動する人科の学生・教員が街とそこに生きる人々の将来について、それぞれの経験を背負って語り合いました。

ランチトーク#2

「見た目問題」——無関心と抵抗、そして連帯
PROBLEMS OF LOOKISM :
IGNORANCE, RESISTENCE, AND SOLIDARITY.
古怒田望人（哲学と質的研究 D2）

日時：2019年11月19日（火）12:00-13:00
場所：インターナショナルカフェ



古 怒田さん（いりやさん）は現代思想研究と並行してジェンダー活動家として積極的に発信をしています。いりやさんは様々な話をしました。その中でも私に強く引かれたのは街行く人の多くが困っているいりやさんに対して全く無関心であるのに、しかしネット上では多くの匿名の人々がSNSを通じて誹謗中傷の言葉をぶつけてくることでした。無関心と暴力を乗り越える連帯を、私たちは創らねばなりません。

ナイトトーク

表現@大学
栗本英世 牟田和恵
仲田幸司 桂悠介？
安藤歴 参加者みんな

日時：2019年12月20日（金）18:00-20:00
場所：インターナショナルカフェ



大 学における表現の自由を考える会を実施したいという声を受けて、新企画ナイトトークを栗本先生、牟田先生、仲田さん、桂さん、安藤さん、そして参加者みんなで開催しました。大学では表現をめぐる様々な問題が起こっています。大学はどのような場所であるべきか、人々の声をどのように伝えていくのか、参加者それぞれが意見を語り合うことで問題とアプローチ方法が具体的に became きました。

ナ イトトークはランチトークよりも長い時間をかけて教員と学生が研究分野の垣根を越えて議論します。誰かがリーダーになって話すのではなく、そこに集まったみんなで考える会です。だからあえて「参加者みんな」と書いています。会場では緊張感のあるディスカッションが展開され、参加者からも好評でした。そして先生方の真摯な姿は学生の印象に強く残りました。





ランチトーク#3

実践と研究

ごうじりつこ（哲学と質的研究 D3）

寺村晃（地域創生論 M2）

日時：2020年1月27日（月）12:10-12:50

場所：インターナショナルカフェ

社 会人大学院生として様々な境界を飛び越えてきた方々とのランチトークです。ごうじさんは助産師、寺村さんは作業療法士としての豊富な経験を持ち、現場で抱いた危機感を胸に人科に飛び込みました。そして様々な困難を乗り越えてそれぞれ博論／修論を提出されました。実践の現場で求められているもの、研究の立場、実践と研究の相互効果など、興味深い話がどんどん続いていきました。実践と研究の現場を巡るランチトークは今後も続けていきたいと思ひます。



ナイトトーク02

大学の教育

三浦麻子 モハーチ・ゲルゲイ 井上瞳

ラフマトウロエワ・サビーナ・ボヌ 柳田和哉

参加者みんな

日時：2020年2月14日（月）12:10-12:50

場所：インターナショナルカフェ

教 育は人科で活動する私たちにとってもっとも身近なものです。しかし、「教育」や「学際性」を巡るそれぞれの経験は分野や立場によって相違に異なっていました。お互いの発言を一生懸命聞いて応答するのですが、抱えている問題意識はなかなか伝わらず、そして伝わっても意見は対立します。とても体力が要る対話でした。容易に答えは出ませんでした。参加者それぞれ大学の教育や学際性について考えるべきポイントをいくつも見つけることができました。



多 くの学生、教職員の皆様のご協力のおかげでランチトークとナイトトークは開催されてきました。これからもみなさんの生を受け止める新たな出会いの場を目指してますます積極的に活動していきたいと思います。こんなことをしてみたい、あんなことをしてみたい、みなさんの面白いアイデアから思いもよらなかった未来を創っていききたいのです。

（文責 織田和明）